



Q: ドローンを活用した取組について

A: 幅広い活用が期待されるドローンについては、全庁的に検討してまいりたい。

伊谷賢司議員

ICTを活用した政策について

(ドローンを活用した本市の取組並びに今後の施策について)

伊谷 災害・災難・水難・獣害・不法投棄対策、また農林・建設・医療・消防・高齢者の安心サポート等への活用についてお伺いする。
政策企画監 他府県市町村の例を踏まえると様々な利活用が考えられる。政府も未来投資戦略で積極的に推進しており、地方創生特区地域では産業発展を主体とした先進的な活用が検討されるなど、今後も幅広い分野での活用が期待される。本市においても、まず庁内検討会議を立ち上げ、全庁的に検討し、利活用について一層推進してまいりたい。
伊谷 ドローンの操縦士養成について伺う。
政策企画監 ドローン関連団体とも連携し、座学や操

作体験会を開催、操縦技術にたけた職員を一人でも多く育成し、部局横断的に利活用を推進してまいりたい。
公共施設運用について
伊谷 市内の公共施設運用について以下の要望を行った。

- ・ 5万人の森公園の今後の取組について、子どもたちが遊べる芝すべり場の設置
- ・ 観光交流センターについて、サイクルターミナルとしての充実
- ・ 市立五條文化博物館の今後について、しっかりとした企画で市民の皆様にも親しまれる博物館づくり
- ・ 新庁舎移転後の現市庁舎跡地の利活用構想について、木造図書館並びに老若男女が集える寺小屋を併設した利活用



五條まち・ひと・しごと創生総合戦略について

伊谷 「出会いの環境をつくる」婚活の取組について、現状並びに今後の構想についてお伺いする。

あんしん福祉部長 来年度から民間活力等の導入も視野に入れ、事業充実にむけて検討を行ってまいります。

伊谷 木質バイオマス事業によるチップ利用促進についてお伺いする。

大塔支所長 (仮称) 木材製品等生産整備事業において、現在製材製品と木質チップを製造する施設の設計業務を行っている。木質チップは、きずみ館をはじめ温泉施設等で有効活用を予定となっている。

また、再生可能エネルギー・電気・熱自立的普及促進事業の採択を受け、研究事業にも着手している。

伊谷 水資源を活用した産業づくりについてお伺いする。

水道局長 今後の経営状況を判断しながら水道水を売るだけではない、水資源を活用した取組を考え、収益効果が向上するよう研究してまいりたい。

伊谷 本市の基本目標である「子供を育てたいまちをつくる」についてお伺いする。

市長 「0歳から15歳まで」を見通した切れ目ない教育体制を整え、レベルアップした教育環境のもと、五條市で子供を育てたいというまちづくりを市政の柱として進めてまいりたい。





養田全康議員

Q：学校適正化の今後の説明の機会について

A：意見交換を重ねながら、共通理解を得られるよう話し合いを重ねてまいりたい。

学校適正化について

養田 文部科学省では、公立小・中学校における適正配置等の手引きが出されており、「少子化に対応した活力ある学校づくりに向け」とある。その手引きには、児童・生徒の保護者や「就学前の子供の保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得る」など、地域の意見は十分聞くようにとあるが、現在、

協力体制がない地域では条件のすり合わせが必要と思う。今後、説明や話し合いを持たれるのか伺います。

教育部長 子供たちが適正な集団規模で望ましい教育環境の中、多様な人間関係や充実した指導環境で成長できるよう適正化を考えている。保護者や地域の意見については、意見交換を重ねながら共通理解を得られるように話し合いを重ねてまいりたい。

養田 しつかりと保護者や

地域住民と今後も話し合いをする必要がある。また、要望書などで出された意見に対し、回答をしていく必要があるが、どのようにされるのか伺います。

教育部長 今後も話し合いを重ねていく。要望書については、説明会で説明させていただいている。

先般出された要望書については、文書で回答をするのか検討していく。

養田 文部科学省の手引きでは、適正化は「行政が一方的に進める性格のもの」ではなく、「地域住民の十分な理解と協力を得るなど『地域とともにある学校づくり』」が必要とある。今後はきめ細やかな話し合いをお願いする。



五條市の障がい者サポートについて

養田 障がい者手帳をお持ちの方は年々増加傾向にあると考えるが、五條市内に障がい者が携われる施設数などのような推移を示しているのか、また、施設は増加傾向にあるのか伺います。

あんしん福祉部長 就労系施設が5か所、その他サービスを合わせると19か所ある。増加傾向にあるかは、不明である。

養田 今、五條市が障害者施設に対し行っている取組はどのようなものがあるのか伺います。

あんしん福祉部長 社会福祉課において、各事業所と連携協力を行い、利用者福祉サービス提供をしている。また、障害者優先調達推進法に基づき、障害者就労支援事業所から役員及び物品の購入を行っている。

養田 現在、優先調達の目標値650万円に対し、682万円と目標値をクリア

しているが、学校給食のパン292万円、ひまわり園の管理169万円、EMぼかし91万円など大きな金額で支出している。就労支援施設が5か所あるとのことだが、現在5か所の中で五條市と契約がない施設はあるのか伺います。

あんしん福祉部長 五條市にある就労支援施設でどのような役割ができるかは、各施設に聞き取りをさせていただきたい。御指摘のように、偏りがあると考えます。

養田 就労支援施設に対しては、しっかりと聞き取りを行い、幅広く、そして偏りのないようお願いする。また、多くの障がい者の皆様が社会参加できるように、そして、賃金向上できるようにしていただきたい。

その他の一般質問

上野公園の管理について



Q: 上野公園市民プールの跡地利用について

A: 公園運営及び整備検討会で有効な活用について検討を行ってまいりたい。



福塚 実議員

学校適正化及び認定こども園について

福塚 地域の説明会での意見の捉え方を伺う。

教育部長 今後学校間で学校統合協議会を設立し、統合に向けての協議を行う中でしっかりと考えさせていただきます。

福塚 認定こども園の運営に関して、今までの保育所等と違い、かなり善処した形で進んでいただけの点については期待する部分が多い。認定こども園についてのどのような認識なのかを伺う。

教育長 小・中学校に加え就学前をどうするのか、五條市にとって将来を左右する大きな課題ではないかという観点を持っている。保育所等をうまく生かしながらこども園として小一プログラムや中一ギャップの問題につなげ、より安心できる保育態勢・教育態勢を作ることができればという思

いで進めている。

福塚 まだまだ問題はあるが、地域住民が理解できる形で進めていただきたい。

新庁舎建設について

福塚 工事車両通行に伴う安全対策について伺う。

都市整備部長 ガードマンの整備や地域住民への工事説明、高齢者や児童・生徒への安全の徹底を行っている。

福塚 想定外のトラブルや事故を想定した安全対策確保を考え、市民の理解を得られるよう取り組んでいただきたい。

上野公園の有効活用について

福塚 上野公園のプール跡地の活用について伺う。

都市整備部長 市民プールは平成26年度に休止、公園運営及び整備検討会で修繕か廃止かの検討がされ、平成29年2月に廃止が決定、跡地については有効活用で

きるよう検討を続けている。

福塚 解体後、スポーツ施設や防災施設としての利用など検討し無駄のない跡地利用を考えていただきたい。

跡地利用については、シダーアリーナに来場された方の食事ができるフードコートのような場所を作り、利便性やゆつくりできる環境整備をすることが良いのではないかと考える。

都市整備部長 御指摘の意見を踏まえ、公園運営及び整備検討会で検討を図ってまいりたい。

福塚 シダーアリーナでのイベントにおいて、音や話の内容を聞き取れないという意見を聞く。市民利用者に感動・感銘を提供する場としてより良い環境にするべきと考える。

都市整備部長 今までも音響の専門家によって最善の音響となるよう見直しを行っているが、今後防音シー

トや吸音シート等々研究課題とさせていただきます。

福塚 上野公園のアクセスについて、利用者・来場者から、駅から遠い、国道に出るまでに時間が掛かりすぎる等の意見がある。市としてどのように捉えているのか伺う。

都市整備部長 上野公園は車両での来場者が多く、利用の重なる場合は上野緑地公園を臨時駐車場として利用、今後は歩行者の安全と車両の渋滞緩和のため中央の園路の通行も検討してまいりたい。

福塚 しつかり研究し、渋滞の緩和や来場者の増加も見込まれる可能性もある中で、新駅や臨時駅についての設置も前向きに検討いただきたい。





Q: 財政運営について

A: 市債残高縮減に向け、持続可能な財政運営に鋭意取り組んでまいります。

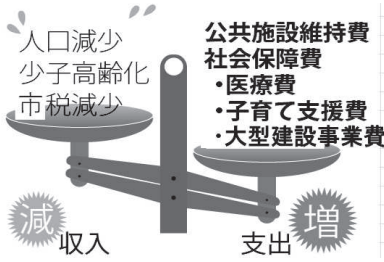
牧野雅一議員

財政運営について

牧野 幾度となく本会議や委員会において、現状や将来の見通しを伺ってきた。新庁舎建設をはじめ、花咲寮建設など、過去に例を見ないような大規模な予算案が提出されている。議会側としては、こうした予算案を審議するにあたり今後の事業に充当する財源の見込みと市の財政全体に及ぼす影響などについて、しっかりと理解し、適切な判断を行うことが重要と考える。市債の返済に計上する公債費の今後の推移を尋ねる。

理事 大規模建設事業に係る市債償還の開始に伴い、平成35年度に約36億円程度のピークとなるなど、今後10年間程度、公債費は多額になる。

牧野 平成



29年6月議会の答弁では、「平成33年度には約40億円が必要となる見込み」とあったが、何がどう変わったのかお伺いする。

理事 公債費の平準化を図るため、既定の範囲内で新発債の償還期間の見直しを行った。

牧野 ある意味、借金の先送りということでないのか。そこまで無理をして、将来の市の財政運営には支障が無いとは言い難いのではないのか。効率の良い財政運営と言えるのか甚だ疑問がある。また、「平成29年度の比率は、前年度に比べ1.6ポイント悪化」という監査委員からの財政健全化審査による実質公債費比率の意見を踏まえた今後の推移についてお伺いする。

理事 現時点では、国の示す基準以下であるが、数年間は大規模事業も控え数値は上昇するものと見込まれ、市債残高の縮減に向けた減債基金の有効活用等、持続可能な財政運営に向け鋭意

取り組んでまいります。

牧野 確かな未来への財政を見通す場合、ゆとりのある財政計画を立案する必要があり、健全な財政運営をお願いする。

効率的な行政運営について



牧野 本来の市の規模を大きく上回る多額の予算で、事業を一斉にやれば、必ず無理が生じる。市には、財源も人的資源も決して無尽蔵ではなく、限られた貴重な資源であり、この資源を無駄なく効率的に運用し、もっと広い視点で市の行政運営を見つめ直すべきと考えるが、見解をお伺いする。

市長 借金の状況は厳しいが、今どうしてもやらなければならぬ。借金を増やすことは、市民に負担をかけるが、先を見越した私の理念でやってまいります。

牧野 約8年前、当時の市政に異を唱え、このまちの将来を見据え市長選に立候補を決意された時の姿勢は、どこへ行ってしまったのか。今一度、原点に戻って初心を思い出し、好き嫌いでなく、職員の話にも耳を傾け、このまちの「確かな未来」に向け、かじを取られることを願う。



その他の一般質問
1 大塔町の復興・振興について
①進捗について
②振興に向けた展望について
2 花咲寮建設事業及び周辺整備事業の進捗について
①事業規模について
②地区との協定書に基づいた周辺整備事業について
3 豪雨災害をみて水路の整備について
①想定し得る最大規模の降雨量について
②内水に対する水路の安全性について
③ハザードマップの見直しについて
4 遊休資産の活用状況について
5 新庁舎建設及び周辺道路整備について
①旧岡中線の整備について
②岡口3号線の進捗について
③建設事業について